

不変と

～長寿経営に向けて～

トヨーカネツは主に液化天然ガス(LNG)タンクなどの大型タンクの建造を柱とするプラント事業と、物流倉庫や空港内部で荷物を運び、仕分けるシステムを中心とする物流ソリューション事業の二つの事業を展開する。大和田能史社長は「両手のまたな分野に挑戦する中で得意分野を作り、時代の変化に合わせて社会課題を解決してきた」と話す。



日本橋本社前(当時)に並ぶ、ボイラを積んだトラックの行列

トヨーカネツ

タンク・物流で社会に貢献

つた溶接技術を転用して民生用タンクの製造をスタート。その後原油タンクにLNGタンクを加え、大型LNGタンクではシェア10%以上を有する世界第2位のタンクメーカーとなった。

1950年ころからスタートした建設工事用ベルトコンベヤーは、物流用にターゲットを替え、特に空港手荷物搬送システムでは国内の空港で8割超のシェアを占めている。主なターゲットは生活協同組合や郵便局、空港で、近年は電子商取引(EC)事業者向けが伸びている。特にコロナ禍以降は果敢もり需要によるECの利用増で物流センターにおける仕分け、ピッキング、搬送システムの設計からメンテナンスまでを一貫して担う物流向け需要が急増。主力事業に成長した。

時代に合わせて新事業を創出してきた同社。経営のさらなる安定を目指し、第3の柱となる事業を「みらい創生事業」と位置付け、特に環境領域を育てている。

「わが社は常にすすんでよりよきものを造り社会のために奉仕する」社是は社員に浸透しており「社員は真面目で粘り強い」(大和田社長)と評する。その一方で新規事業をするには「ことがった人材が不可欠」(同)と新たな風を取り込んでいく考えだ。

【企業メモ】1941年(昭16)に東洋火熱工業として創業。69年に現社名へ変更し、翌70年に東京証券取引所第一部(現在の東証プライム市場)に上場した。23年3月期の連結売上高は前期比20%減の473億円。